

2021年9月13日

調査室

今週の株式相場見通し

* 日経平均 29,600~31,000円 TOPIX 2,030~2,130
 * 期待材料 自民党新総裁誕生への期待 経済対策の実施 新型コロナ第5波の収束
 * 不安材料 新型コロナ変異株の感染拡大 北米ハリケーンに伴うさらなるサプライチェーン問題

3日午前に菅首相が自民党総裁選へ不出馬との一報があつて以降、日本株は急反発している。支持率の低迷する菅首相の下で衆院選が行われ、与党が大敗し国政が停滞するとの懸念が大幅に後退したことに加えて、国際的な比較や過去の平均的なPER推移と比べて割安感が台頭していた日本株に買戻しの動きが入っている。アベノミクス以降、コロナ禍により大幅にPERが切り上がることであった20年初までの日経平均の平均PERは14.5倍である。過度な懸念後退により、現在の予想EPS2,160円程度に平均PER14.5倍で評価した日経平均の31,000円乗せに期待したい。31,000円を超えてさらに上昇するには、新型コロナ第5波収束や大型の経済対策、半導体やワイヤーハーネスなどのサプライチェーン問題解消などを通じた一段の企業業績(予想EPS)の向上や、アベノミクス相場の初期にみられたような構造改革加速への期待感を背景とした予想PERの上振れが必要となる。予想EPSが大きく修正される場合としては、3月期決算企業の2Q決算の発表が始まる10月半ば以降が想定される。一方で、予想PERの変化については、今週17日の自民党総裁選の告示以降の各候補による政策論争及び、どの候補が優位かとの観測が大きく左右するものと思われる。なお、先週8日の日経新聞マーケット総合欄に「日本株、過熱サイン相次ぐ」との記事があり、日経平均株価の25日移動平均との上方乖離率が6.9%まで急上昇し、過熱の目安とされる5%を大きく上回ったとしている。確かに、通常は5%の乖離率をメドに調整に転じるケースが圧倒的に多い。ただ、5%で止まらず大きく抜けてきた時は、数ヶ月に渡る上昇相場のスタートとなり、その後、10%程度の乖離を示すケースもある。7日時点の25日移動平均27,978円に対して10%の上方乖離とすると、30,800円弱となる。過去の同様のケースでは数ヶ月の日柄を伴った上昇相場となっており、その間に25日移動平均も上昇してくるので、総裁選次第では、さらなる上値追いとなるケースも想定したい。(9月10日現在、多功 毅)

今週の予定

	国内	海外
9/13(月)	神戸物産(3038)3Q決算	[ノルウェー]議会選挙
14(火)	7月鉱工業生産確報値(13:30) エニグモ(3665)2Q決算 パーク24(4666)3Q決算 ヤーマン(6630)1Q決算	[米]8月消費者物価指数(21:30) [米]カリフォルニア州知事選挙 [米]第76回国連総会(~27日) [米]アップル製品発表イベント
15(水)	7月機械受注(8:50) 7月第三次産業活動指数(13:30) プラネット(2391)本決算	[中]8月鉱工業生産(11:00) [中]8月小売売上高(11:00) [米]8月鉱工業生産(22:15)
16(木)	8月貿易統計(8:50)	[米]8月小売売上高(21:30)
17(金)	自民党総裁選告示	[欧]8月消費者物価指数(18:00)
18(土)	「カップヌードル」誕生50周年	[チリ]独立記念日
19(日)	苗字の日	[中]中秋節(~21日)
20(月)	敬老の日	[加]総選挙

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 **ロート** (4527) 東証1部



20年03月期 (百万円)		21年03月期 (百万円)		22年03月期(予) (百万円)		株価(9/9)	3,540 円	
	前年比		前年比		前年比	業種	医薬品	
売上収益	188,327	2.6%	181,287	-3.7%	182,000	0.4%	時価総額	4,180 億円
営業利益	23,085	10.9%	22,990	-0.4%	23,100	0.5%	PER(予想)	23.60 倍
経常利益	22,735	19.8%	23,910	5.2%	23,900	0.0%	PBR(実績)	2.52 倍
当期純利益	15,410	57.3%	16,743	8.6%	17,100	2.1%	ROE(実績)	11.37 %
EPS(円)	135.13		146.78		149.91		配当利回り(予想)	0.84 %
配当金(円)	26		28		30		担当	志田 憲太郎

出所:業績に関する数値は決算短信より

一般用目薬では国内シェアトップ。医薬品メーカーならではの機能性化粧品を展開。「健康寿命の延伸」を目指し再生医療事業や食品事業にも注力している。主な製品売上構成比はスキンケア関連が 61.3%、アイケア関連が 23.2%、内服関連が 12.9%。機能性化粧品である「オバジ」、「肌ラボ」が主力。ほかにも美容液の「メラノ CC」はネット上などで「プチ（小さい）プライス（価格）」を略した「プチプラ」かつ、シミやそばかすの予防、ニキビ対策でも効果が高いと人気化。シャンプーの「デオコ」は 10 代後半をピークに減少していくとされる「ラクトン」という匂いの成分に注目し、若い頃の甘い香りが続くシャンプーとして 30 代以降の女性をターゲットに発売したところ男性からも支持を受け一時品切れを起こすドラッグストアが出るなど人気となった。2020 年からは新型コロナ向け治療薬の開発に着手。

20 年 8 月の第 I 相試験において安全性を確認、21 年 6 月には有効性を評価する第 II 相試験を開始した。常に新しいことに挑戦することで高いブランド力を維持している。22 年 3 月期 1Q（4-6 月）決算は実質 15.4%増収、全ての利益段階で大幅増益となるなど好調なスタート。新型コロナの影響が長引いているものの、人気スキンケア商品の「オバジ」シリーズが 20 周年を迎えるにあたり全オバジシリーズを一新したことや、前期に大きく落ち込んだ日焼け止めなどが回復したほか、「メラノ CC」「デオコ」など話題の商品や高付加価値の高額目薬が好調を維持した。海外は中国が回復したほか、インドネシア、ベトナムなども増収となるなど越境 EC が堅調に推移しインバウンド需要が底打ちした。コロナの影響の見極めが困難なため通期見通しを据え置いたが、下期に売上が増加する傾向にあることに加え、今期買収した「ボラギノール」などの天藤製薬の業績寄与は下期以降に反映する予定であることから、期中の上方修正が期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(9/9)	コメント
STI フード HD (2932) 東証 2 部 4,065 円	セブンイレブン向けにパック入り焼き魚やカップサラダを自社工場で生産し提供。水産品の取り扱いに強み。21年12月期2Q累計(1-6月)決算は前年同期比15.9%増収、営業利益は2.0倍に拡大。魚介を使ったカップサラダの販売が好調に推移したことに加え、生産性改善の取り組みが奏功し利益率が改善したことで大幅増益を達成。近畿や関東で新工場の新設を検討しており、カップサラダや新商品などの生産能力を増やして業績拡大を目指す方針。(松本 直志)
東京応化工業 (4186) 東証 1 部 7,780 円	21年12月期2Q累計(1-6月)決算は前年同期比13.3%増収、43.7%営業増益。主力事業である半導体向けフォトレジストが3D-NAND向けKrfを筆頭に、先端のArf、レガシー品のg線・i線、今後、本格的な市場拡大が見込まれる最先端のEUVと全用途が好調に推移している。さらに、半導体の後工程向け高密度実装材料も好調に推移している。通期業績計画を14.0%増収、23.2%営業増益計画に上方修正している。(多功 毅)
エラン (6099) 東証 1 部 1,312 円	21年12月期2Q累計(1-6月)決算は前年同期比25.1%増収、42.4%営業増益。順調に契約施設数が拡大していることに加えて、コロナ禍で家族などの面会が制約されることでサービスの利用率も向上。2Q累計決算は上振れ着地であったが、コロナ禍の長期化で営業活動や新規事業活動の正常化が遅れるリスクを踏まえて通期の19.0%増収、20.9%営業増益計画を据え置いた。シェア拡大の余地は大きく、中長期的な成長にも期待。(多功 毅)
AI メカテック (6227) 東証 2 部 1,723 円	液晶ディスプレイ製造装置や半導体パッケージ製造装置が主力。マイクロLEDなど次世代ディスプレイ向け製造装置の開発も行っている。半導体市場の拡大や先進パッケージの需要増に伴い、半導体向けパッケージ製造装置の需要が伸び、21年6月期通期決算は前年同期比10.9%増収、営業利益は2.2倍に拡大。今期は半導体関連の好調持続、マイクロLEDなど次世代ディスプレイ向け装置の出荷が増え前年同期比6.1%増収、16.7%営業増益を計画している。(松本 直志)
朝日 インテック (7747) 東証 1 部 3,350 円	21年6月期通期決算は前年同期比8.8%増収、2.8%営業増益、8.8%最終増益だった。新型コロナウイルスの影響は残ったが海外市場の需要回復に伴い医療事業を中心に増収となった。心臓の血管カテーテル治療ガイドのPTCAガイドワイヤー、PTCAガイドワイヤーの補助である貫通カテーテルが直販化などの販売強化策などにより中国、北米市場で増加した。併せて発表した22年6月期通期見通しでは大幅増収を見込む。主力の循環器分野で症例数の戻りに加え、末梢血管系製品について北米・欧州で新製品を投入し販売を強化する。(志田 憲太郎)
カプコン (9697) 東証 1 部 3,340 円	22年3月期1Q決算は前年同期比売上が2.0倍、営業利益は2.2倍の236億円、最終利益は2.2倍の173億円だった。新作「バイオハザード ヴィレッジ」が累計450万本を販売するなど新作大型タイトルを含めデジタル販売が貢献し、大幅増収増益となった。据え置き型のゲーム需要に対しPC版の需要は高まってきており、今後はPC向けなどマルチプラットフォーム戦略を推進していく。每期複数数の大型新作を投入し、営業利益の2桁成長を目指す。(志田 憲太郎)

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室